

吉野川下流大規模氾濫に関する減災対策協議会（第2回）

議事概要

1. 開催日時及び開催場所

日 時：平成28年8月31日（水） 14:00～15:00

場 所：石井町中央公民館 いしい藤ホール

2. 出席構成員

徳島市長、鳴門市長、吉野川市長、阿波市長、石井町長、松茂町長、北島町長、藍住町長、板野町長、上板町長、徳島河川国道事務所長、吉野川ダム統合管理事務所長、水機構池田総合管理所長、水機構旧吉野川河口堰管理所長、気象庁徳島地方気象台長、徳島県河川整備課長、徳島県とくしまゼロ作戦課長、徳島県消防保安課長、東部総合県民局県土整備局＜徳島庁舎＞副局長（整備担当）、東部総合県民局県土整備局＜徳島庁舎＞副局長（鳴門担当）、東部県土整備局＜吉野川庁舎＞副局長

3. 会議の概要

（1）吉野川下流域の減災に係る取組方針の設定について

幹事会において各構成機関において検討しとりまとめた、取組方針（案）について了承された。

（2）今後のスケジュールについて

取組方針の実施状況の確認と必要に応じてフォローアップを行うため、毎年出水期までに協議会を行い、開催に必要な幹事会を適宜実施するスケジュールについて事務局から説明し、了承された。

4. 主な意見

- 住民の意識向上によるソフト対策を含めた最大限の警戒と万全の備えが必要不可欠と認識し、努力を重ねる。
- 大規模氾濫には広域的な取組が必要で市町境を越えて避難が必要なので県などが音頭を取って協力してほしい。
- 一市町単位での取組では限りがあるため減災対策協議会において関係機関の連携強化やハード・ソフト両面の対策実施が必要。
- 広域的な危機管理演習の実施や、水防指導者の育成など各町で取組み、沿川の住民が水害を我がこととして捉えることができるような施策を講じていくことが重要。
- 吉野川だけでなく県河川のHMも重要であり、災害時の避難勧告等々も双方のタイミングをみながら出して行かなければならない。